

平成 28 年度 東北ブロック事業報告

1. 活動テーマ

地域に責任を持った活動の強化

2. 目的

「地域における保健師の保健活動に関する指針」を活用した保健師活動の可視化と質の向上、情報交換を図る目的で、東北ブロック支部長会、ブロック研修会を開催する。

今年度は、福島県において開催するため、東日本大震災後の福島県特有の地域課題（東京電力の原発事故による避難等）を取り上げ、行政対応の報告をする。

さらに、震災体験記「希路」を配布し、震災当時、地域・住民に対し責任を持ち続けて活動していた保健師の思いを汲み取ってもらい、保健師活動のあり方を考える機会とする。

3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	8月27日（土） 10：00～12：00	福島県郡山市 郡山市民交流プラザ （ビッグアイ）	《東北ブロック支部長会議》（出席者 16 名） ・活動報告 ・協議 ・情報交換 等
2	8月27日（土） 13：00～16：30	福島県郡山市 郡山市民交流プラザ （ビッグアイ）	《東北ブロック研修会》（出席者 75 名） ①保健師長会活動報告：全国保健師長会 谷戸典子副会長 ②調査研究班報告：「地域包括ケアシステム構築における保健所・市町村保健師の保健活動に関する研究」札幌市 関 靖子氏 ③講演 「地域に責任を持つために保健師に必要な資質～最初の一步は、地域を見る力～」 立命館大学 地域健康社会学研究プロジェクト 教授 早川岳人氏 ④活動実践報告 ・「いわき市への避難者に対するいわき出張所の健康支援活動」：福島県保健福祉部 障がい福祉課 主幹 菊地とも子氏 ・東日本大震災における保健師の体験記“希路”について ：郡山市保健所総務課 主任技査兼係長 斎藤恵子氏 ⑤グループワーク 「地域に責任を持つ活動を推進する最初の一步は、何かから踏み出すか」

4. 結果・課題

- ・東北ブロックは、エリアが広範囲であるため、1 日間で支部長会議、ブロック研修会を開催した。
- ・支部長会議においては、会員数が増加傾向であるが、会費設定にも支部独自の特徴があり、支部予算に余裕がないところもあった。
- ・ブロック研修会は、平成 27 年度地域保健総合推進事業「保健師活動指針の活用に係る事例の収集」の構成員である早川岳人教授を講師に迎え、データの見方、具体的な取組事例など、すぐ役立つ内容の講演であった。
- ・グループワークにおいては、テーマにそった意見交換の他、県知事と市町村保健師の座談会の

開催などの取組についても情報交換ができた。

5. 支部活動の特徴

- ・支部研修の開催方法の一つとして、看護協会の保健師職能委員会と共同開催にするなどの工夫をしている。
- ・支部代表として、他団体の会議への出席、プラン策定に係る意見の提出などにも取組んでいる。
- ・東日本大震災における保健師活動の継承として、平成 27 年度はDVDを作成、平成 28 年度は配布している。(宮城県)
- ・平成 28～29 年度、全国保健師長会の調査研究「災害後の保健活動における現状と課題」に取組んでいる。(福島県)

6. 委員・支部長

○理事	斎藤 恵子	福島県郡山市保健所総務課
理事	加賀谷 久子	青森県上北地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課 (上十三保健所)
青森県	山口 久美子	青森県西北地域県民局地域健康福祉部保健総室健康増進課 (五所川原保健所)
岩手県	花崎 洋子	岩手県大船渡保健所保健課
宮城県	岡本 咲子	宮城県保健福祉部健康推進課
秋田県	阿部 栄子	秋田県仙北市福祉保健部保健課
山形県	白田 裕子	山形県置賜保健所地域保健予防課
福島県	菅野 誓子	福島県伊達市高齢福祉課